

第3次 富田林市子ども読書活動推進計画 (素案)

令和5年度（2023年度）～令和9年度（2027年度）



とっぴー

令和5年●月

富田林市

第3次子ども読書活動推進計画策定にあたって

(1) 計画策定の趣旨

「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、平成30年3月に策定しました第2次富田林市子ども読書活動推進計画が、令和5年3月に5年間の計画期間を終えることから、前計画策定時にも実施したアンケート調査を本計画時にも改めて実施し、前計画までの成果、アンケート等から把握できた課題、富田林市の現状を踏まえ、今後も家庭・地域・学校等が連携し、子どもたちの生活や成長の過程において切れ目のないサポートを行い、子どもの読書活動を推進する必要があることから、「第3次富田林市子ども読書活動推進計画」を策定します。

(2) 計画の目的・基本目標・計画の期間

目的 : 常に子どものそばに本のある環境の継続をめざし、子どもの読書活動を支援する人を増やすこと、その知識やスキルアップを図り、人々の連携の強化によって子どもの読書活動のさらなる推進をめざします。

基本目標 : 子ども読書活動推進のために、以下の目標を定めます。

- ①家庭・地域・学校での読書の機会と環境の充実
- ②地域・学校・図書館などの連携
- ③読書推進の啓発

計画の期間 : 令和5年度（2023年度）から令和9年度（2027年度）

第2次計画における取り組みの成果・課題

第1次計画・第2次計画策定時にも実施した「富田林市の子ども読書活動推進に関する現状の調査」を本計画時にも改めて実施し、本市の読書環境の把握・分析を行いました。次に、児童生徒（小3・小6・中3）を対象に読書調査を行い、前回調査と比較して、子どもたちの読書状況や読書環境の変化を把握しました。さらに、4か月児健診受診保護者を対象にアンケート調査を行い、乳児への読み聞かせについて、現状把握に努めました。

- ・保育園や幼稚園などの施設では、所蔵冊数の増加や、幼稚園つつじ号の運行で団体貸出が伸びており、読書環境は一定程度改善されております。一方、団体貸出について、保育園・認定こども園・幼稚園のいずれでも、「図書館が遠い」という理由で利用されていないなど、まだまだ改善の余地があることもわかりました。
- ・児童生徒対象のアンケート結果からは、1冊も本を読んでいないという回答が小3では1.9%と少数ですが、小6では9.7%に増加しました。一方、中3では1冊も本を読んでいない生徒が年を追うごとに減少しており、今回調査では20%強まで減少しました。
- ・4か月児健診でのアンケートでは、読み聞かせをしている家庭が70%近くあり、4か月になるまでに読み聞かせている状況などから、読み聞かせの大切さが浸透している状況が伺えました。
- ・第2次計画期間の数値目標の検証では、目標が達成できた項目がある一方で新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、接触機会を伴う数値目標については、数値目標の達成はできませんでした。

第3次子ども読書活動推進計画の推進に向けた取り組み

子どもたちの生活や成長の過程において切れ目のないサポートを行うため、家庭、地域、学校等の関係機関と連携・協力のもと子どもの読書環境の整備に努めます。

第3次計画における実施内容とその方向性について表示しています。

1. 家庭

- ・ブックスタート事業、プレ☆ママパパ教室向けや年齢別の絵本紹介リーフレットの配布に加えて、妊娠期の親へのリーフレット配布による啓発
- ・あかちゃんのおはなし会の充実

2. 地域

- ・児童館での本に関わる講座の実施やリサイクル図書の活用による読書推進
- ・図書館からの学童クラブ配本便による子どもの身近に本のある読書環境の充実
- ・子育てサロンや子ども文庫の地域での読書活動の継続
- ・「感想文を書こう！MEET★富田林コンクール」に図書館も協力して読書のきっかけ作り

3. 保育園・幼稚園・認定こども園

- ・図書館の団体貸出やリサイクル図書の活用による読書環境の整備
- ・図書館訪問や読み聞かせ、保育園と図書館の協力によるわくわく広場での読書機会の拡大
- ・幼児教育センターでの読み聞かせや図書館出前講座の活用による啓発

4. 学校

- ・読書通帳の利用、「とっぴーと読もう！読書感想文コンクール」の参加、ボランティアによるおはなし会の活用等、読書にふれる機会の拡大
- ・学校司書会議などに図書館職員が参加し、学校司書のスキルアップと連携強化
- ・図書館からの団体貸出やリサイクル図書の活用による読書環境の整備

5. 図書館

- ・子どものリクエストや、調べ学習のテーマに沿った資料収集、学校司書との情報共有を図り、児童書の充実による図書館利用の推進
- ・学童クラブ配本便やブック便、市の関係施設へのリサイクル図書コーナーの設置による子どもの身近に本のある環境の整備
- ・図書館出前講座による読み聞かせの啓発や、子ども向け講座による図書館利用の推進
- ・幼稚園つつじ号に加え、保育園つつじ号の運行による子どもの身近に本のある環境の整備

6. 数値目標の検証

第3次計画の新たな数値目標を設定しております。

第3次計画より、「ボランティア養成講座参加者増」の項目を新たに設け、第3次計画目的に沿う形で子どもの読書活動に関わる人材の育成を行います。また、計画期間中、関係部署と連携を取りながら、進捗状況にあわせて、適宜取り組みの強化や検証を行ってまいります。

第3次富田林市子ども読書活動推進計画の推進のために

(1) 推進体制の整備

- ・ 市内に子ども読書活動推進会議を設置し、情報交換と数値目標の確認
- ・ 実務担当者が集まる子育て支援ブロック会議による情報共有、連携、研修などの実施

(2) 人材の育成・研修、協力体制

- ・ 子ども読書活動推進連絡会による関係機関の実務担当者と市民団体との協力体制の整備
- ・ 子どもの読書活動や子どもの発達についての公開講座による一般の方への読書啓発の機会の提供

(3) 啓発・広報

- ・ 市広報、ホームページなどの活用による子どもの読書に関する情報の提供

第3次計画の数値目標

	内容	令和4年度 (2022年度) (見込み)	令和9年度 (2027年度)
学校	学校図書館図書標準達成校	(小学) 15校/16校	(小学) 16校/16校
		(中学) 4校/8校	(中学) 8校/8校
	学校図書館の一人当たりの貸出冊数	60冊	(小学) 105冊
			(中学) 35冊
図書館	学校図書館団体貸出冊数増(ブック便含む)	7,150冊	10,000冊
	おはなし会・読み聞かせ参加者増	650人	1,300人
	ボランティア養成講座参加者増	—	35人
児童館	児童館活動での読書活動の参加人数	5,500人	6,400人
学童クラブ	団体貸出冊数増(学童クラブ配本便含む)	13,000冊	13,500冊
保育園・ 幼稚園・ 認定こども園	図書館訪問回数	60回	60回
	団体貸出数増	2,000冊	3,000冊
保健センター	保護者への読書に関する情報提供増	3,500枚	3,500枚
図書館等	読書に関する研修・講演会・出前講座など	18回	20回

発行年月：令和5年（2023年）●月

発行・編集：富田林市教育委員会 生涯学習部 中央図書館

〒584-0093 富田林市本町 16 番 28 号

TEL 0721-25-4921

FAX 0721-25-4932

<http://www.city.tondabayashi.lg.jp/site/library/>